



2023年8月14日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証グロース)
問合せ先 取締役 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

2023年6月期の通期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2023年2月13日に公表した2023年6月期の通期連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

- 2023年6月期の通期連結業績予想と実績値の差異について
(2022年7月1日～2023年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,000	△700	△750	△850	△30円76銭
今回修正予想 (B)	5,278	△1,112	△1,141	△1,324	△47円93銭
増減額 (B - A)	△722	△412	△391	△474	
増減率 (%)	△12.0%	-	-	-	
(参考) 前期実績 2022年6月期	7,434	152	175	45	1円64銭

2. 差異発生理由

「売上高について」

2023年2月13日に公表した通期連結業績見通しに対して、通期の売上高は5,278百万円(前回発表予想比722百万円減)となりました。

売上差異の主な理由として、コロナ禍の終息に伴う海外受注減少に加えて、日本国内においても新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2023年5月8日より5類へ移行した影響を受けたことにより日本国内における自社ブランド製品である全自動PCR検査装置及びそれに付随する専用試薬・消耗品の販売が受注減少となったことによるものです。

コロナ禍後の受注減少を見据えた売上拡大の為に引き合いのある国内外の事業提携(ライフサイエンス企業、動物検査企業、食品他等検査会社等)を積極的に推進しており、直近では2023年7月28日付けプレスリリース「アークレイ㈱とのPCR試薬の供給及び販売で事業提携」を発表しましたが、2023年6月期の業績に寄与するものではありませんでした。

「営業利益と経常利益について」

上記売上減要因に加えて、直近の事業環境を踏まえて特注機として上市販売予定の数製品を製品評価損として計上することにより、追加の減益差異要因となりました。その結果として、営業利益△1,112百万円(前回発表予想比412百万円減)、経常利益△1,141百万円(前回発表予想比391百万円減)となりました。

「親会社株主に帰属する当期純利益について」

固定資産の減損損失と資金流出事案の発生に伴う特別損失(送金詐欺損失)を計上したことが追加の減益差異要因となり、親会社株主に帰属する当期純利益△1,324(前回発表予想比474百万円減)となりました。

以上